



# 燕市

DATA	【人口】	75,931人 (R6.12.1現在)
	【面積】	110.96平方キロメートル
	【職員数】	629人 (R6.4.1現在)

## 《発表のテーマ》 介護保険訪問調査タブレットの導入について

### <発表概要or今年の特徴>

燕市では、認定結果の遅延解消を図るため、新潟県内初となる「介護保険訪問調査タブレット」を導入いたしました。

課題であった人材の確保や事務効率化の成果を紹介いたします。

### <改善運動の特色やアピールポイントなど>

燕市では、より質の高い行政運営を目指す業務改善運動「TQC (Tsubame work Quality Challenge)」を実施し、自ら課題を発見して解決する職場風土の醸成と人材の育成に取り組んでいます。

### <メッセージ・意気込み>

認定結果の遅延は、多くの自治体で課題になっていると思います。国も要介護認定に関する業務のデジタル化を推進していく考えのようです。この発表が今後の課題解決に向けた参考となれば、うれしいです。



部署名	新潟県燕市 健康福祉部長寿福祉課
タイトル	「介護保険訪問調査タブレットの導入～ 成果について」
改善前 【Before】	要介護認定の結果通知については、申請から30日以内に行わなければいけません。令和4年度は平均44日かかっており、結果通知の遅延が発生していました。

## 取組内容

結果通知が遅延している原因



- ①主治医意見書の提出が遅れていること
- ②訪問調査を実施する調査員が慢性的に不足していること  
(新規採用者が定着しない…)



まずは、市で解決できる②の解決策を検討開始  
新規採用者がすぐに退職してしまう状況を変え、安定  
した雇用を継続させたい！！



## 取組内容

調査基準を覚えなくても、調査できるようにできないか？  
訪問調査にかかる事務を簡略化できないか？



訪問調査に特化したシステムなどの情報収集  
MCWEL介護保険訪問調査モバイルV2（富士通）との  
出会い



介護保険訪問調査タブレットの導入を検討  
令和5年度11月運用開始

効果  
【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

令和6年新規採用者1名、  
先輩調査員と同様に活躍中！  
2年目・3年目の調査員も継続雇用中

- ・ 導入前と比べ、市調査員が実施する件数が**1.3倍に増加！**
- ・ 申請から認定までにかかる期間、**9日間短縮！**